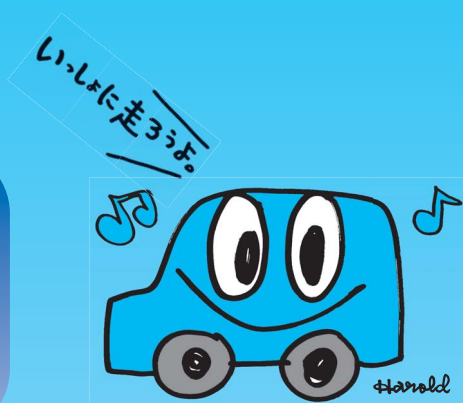


知れば知るほど

いいね!

軽自動車



 **SUZUKI**

 **DAIHATSU**

TOYOTA

NISSAN

 **SUBARU**

HONDA

 **MAZDA**

 **MITSUBISHI MOTORS**

軽自動車を選ばれている理由とは？

なにより経済性にすぐれて、使いやすいから。コンパクトで省スペースな車体ならではの。



いまや日本国内で保有されるクルマの3台に1台を占めるほど、社会にしっかりと根づいている軽自動車。1949年に規格が制定されて以来、実用性にすぐれた乗り物として日本の国になくってはならない存在なのです。

燃費、価格、税金がうれしい！

軽自動車の選択理由

経済性

(複数回答)	燃費が良い	価格が安い	税金が安い
軽乗用系	66%	37%	84%
軽キャブバン	29%	56%	78%
軽トラック	30%	50%	62%

※軽自動車購入ユーザーの軽選択時の重視点 資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

縦列駐車もカンタンうれしい！

軽自動車の最小回転半径は平均4.5m*。小回りがきくので、わずかなスペースでの駐車もらくにできます。また専有面積約5m²の省スペース性は、渋滞の緩和にもひと役かっています。

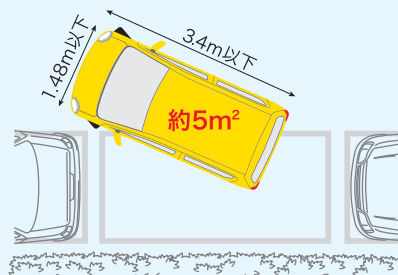
※「自動車ガイドブック vol.60 2013～2014」日本自動車工業会のカタログに掲載された軽乗用車の平均値

軽自動車の選択理由

使いやすさ

(複数回答)	運転がしやすい	狭い道で使いやすい	駐停車がしやすい
軽乗用系	62%	47%	40%
軽キャブバン	53%	44%	46%
軽トラック	44%	67%	25%

※軽自動車購入ユーザーの軽選択時の重視点 資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会



狭い道もラクラクうれしい！

日本の道路の約84%は、道幅平均3.8m*の狭い市町村道。車幅1.48m以下の小さい軽自動車なら、市街地の路地や農道もスムーズに。対向車とのすれ違いも安心です。

※一般道路全体の平均幅員は4.3m

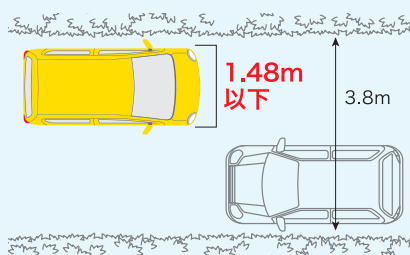
一般道路に占める市町村道の割合

市町村道 **84.7%** (平均幅員3.8m)

都道府県道 10.7% (平均幅員6.1m)

一般国道 4.6% (平均幅員8.1m)

資料：2012年4月1日現在、「道路統計調査」国土交通省 ※幅員は車道部のみ



軽自動車エコな乗り物と言われる理由とは？

車体が小さく軽いため、低燃費だから。環境への負荷をやさしく抑えているのです。



軽自動車の排気量は、660ccという小ささ。燃料の消費量が少なくて済むので、CO₂排出量の抑制に役立ちます。そのうえ、生産に必要な材料やエネルギーなどの消費量も少ないことから、省資源を実現できます。

軽乗用車の平均燃費は
1Lあたり **26.2km**

平均燃費

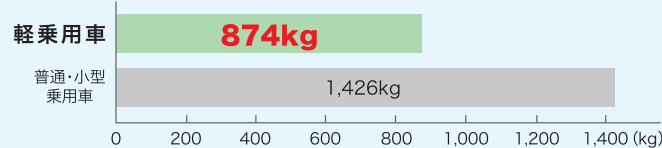


資料：2013年度、軽乗用車は軽自動車メーカー調べ、乗用車全体は日本自動車工業会調べ(乗用車全体には軽乗用車を含む)
※国産車(日本車)のみでの算出 ※平均燃費はJC08モードで算出

CO₂
排出量が
少ない

軽乗用車の重量は
普通・小型乗用車の約6割

車両重量



資料：車両重量は「自動車燃費一覧 平成26年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの

省資源に
貢献

軽乗用車の道路損傷度は
普通・小型乗用車の約 **1/7**

道路にも
やさしく

道路損傷度

	軽乗用車	普通・小型乗用車
車両重量	874kg	1,426kg
重量比	0.61	1
道路損傷度	0.14	1

※車両重量は「自動車燃費一覧 平成26年3月」(国土交通省)に掲載されたガソリン乗用車の車両重量中の中間値を平均したもの
※道路損傷度は軸荷重の4乗に比例する(「舗装設計施工指針(平成18年版)」日本道路協会)

軽自動車を地方で
よく見かける
理由とは？

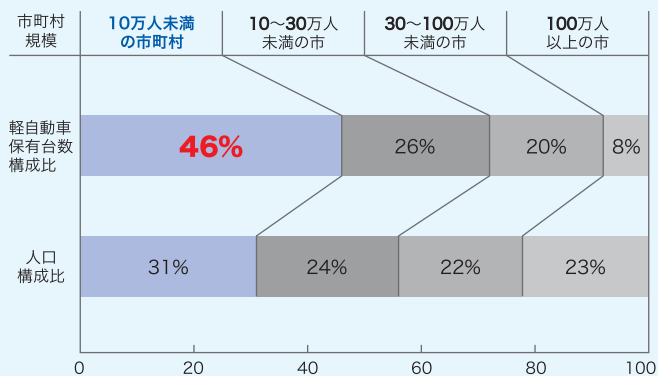
公共交通機関に不便を感じる多くの地域では、
移動に欠かせない足となっているからです。



人口構成比が3割に過ぎない人口10万人未満の市町村で、全国の軽自動車の半数近くが保有されています。
また、軽自動車の普及率は鉄道営業キロ数が短い県ほど高く、移動手段として不可欠であることがわかります。

10万人未満の市町村で 約半数が保有されている

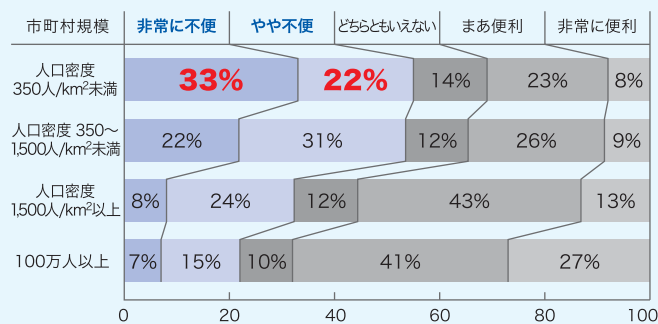
軽自動車保有台数の人口規模別構成比



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

人口密度 350人/km²未満の市町村で 半数以上が公共交通機関について不便だと感じている

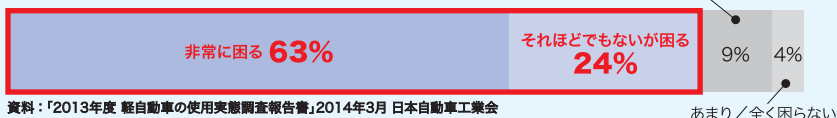
軽乗用系ユーザーから見た公共交通の利便性



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの87%が 軽自動車がなくなると困る と感じている

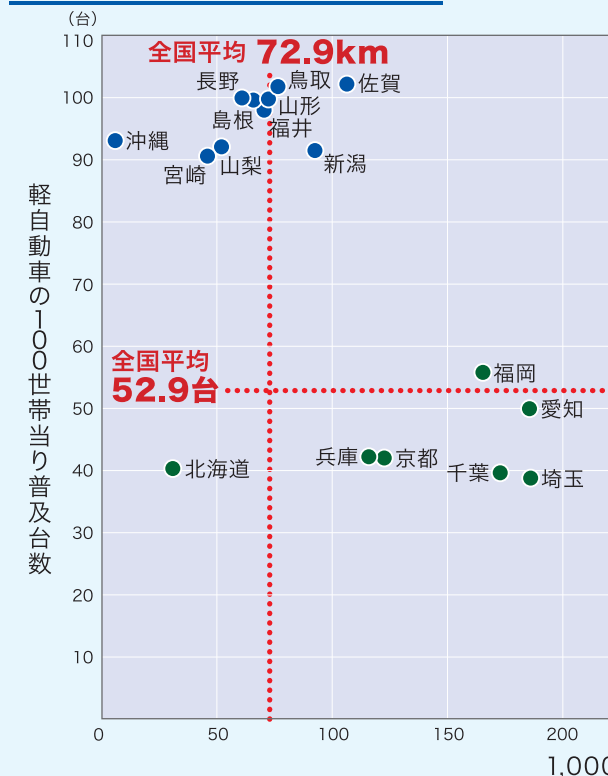
軽自動車がなくなった場合の困窮度



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

軽自動車の普及率は鉄道営業キロ数が短い県ほど高い

軽自動車の普及と鉄道営業キロの関係



軽自動車の世帯当り普及台数

軽自動車普及上位		100世帯当り普及台数	軽自動車普及下位		100世帯当り普及台数
1	佐賀	102.20台	1	東京	11.50台
2	鳥取	101.80台	2	神奈川	21.60台
3	長野	99.97台	3	大阪	27.10台
4	山形	99.80台	4	埼玉	38.70台
5	島根	99.70台	5	千葉	39.40台
6	福井	98.00台	6	北海道	40.30台
7	沖縄	93.10台	7	京都	42.00台
8	山梨	92.10台	8	兵庫	42.20台
9	新潟	91.50台	9	愛知	50.02台
10	宮崎	90.60台	10	福岡	55.70台
平均		96.88台	平均		36.85台

※100世帯当り普及台数の全国平均は、52.90台

資料：100世帯当り普及台数は平成25年12月末現在、全国軽自動車協会連合会調べ。1,000km²当り鉄道営業キロ数は平成23年3月31日現在、地方運輸局調べ。都道府県総面積は、平成25年10月1日現在、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」

軽自動車をよく利用している人とは？

軽乗用車ユーザーの3人に2人は女性。 60歳以上の高齢者にも人気が高まっています。

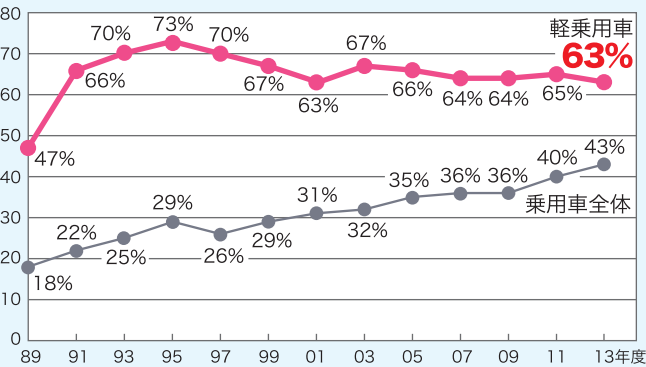


軽自動車の女性ユーザーを見ると、すべての年代で就業率が高く、まさに働く女性を助けるクルマと言えます。さらに、60歳以上の高齢者ユーザーは3割で、「買い替えるならつぎも軽自動車」と強く支持されています。

女性にとって頼れる味方

軽乗用車ユーザーのうち
63%は女性

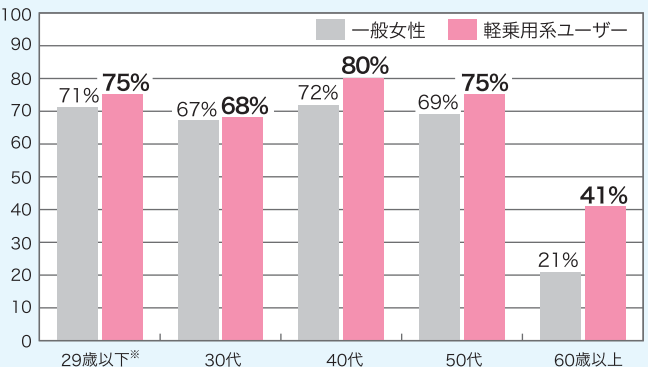
女性ユーザー比率の推移



資料：軽乗用車は「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会
乗用車全体は「2013年度 乗用車市場動向調査」2014年3月 日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）
※05年度より軽乗用車に軽キャブワゴンを含む

女性軽乗用系ユーザーの**就業率**はすべての年代で**高い**

年代別に見た女性の就業率

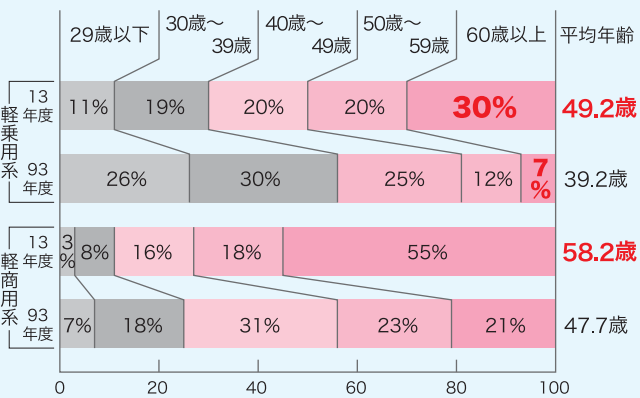


資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会
※軽乗用系ユーザー：18～29歳 一般女性：20～29歳

高齢者の間で高まる支持

軽乗用系ユーザーのうち**60歳以上**の占める割合は約**4倍**に増加

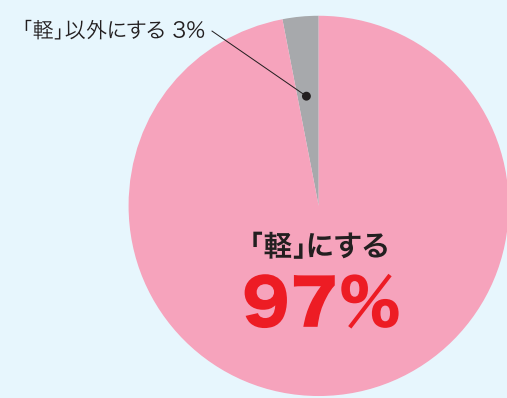
軽自動車ユーザーの年齢



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

高齢軽乗用系ユーザーの**97%**が「軽」と回答

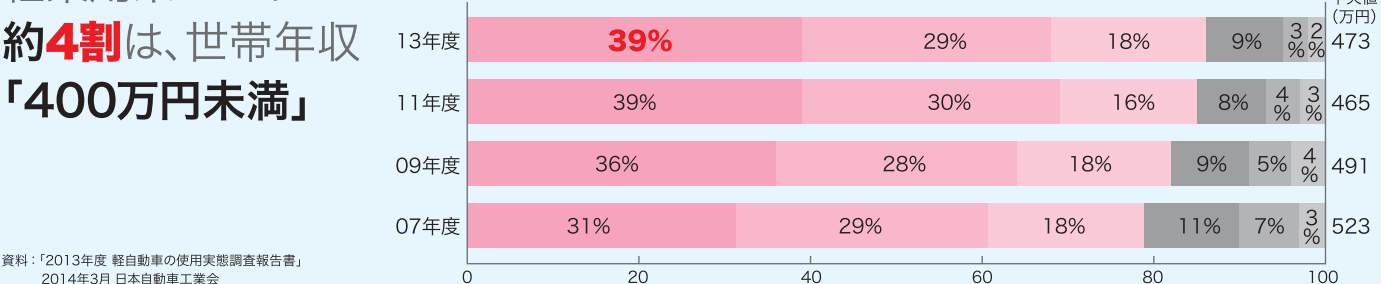
つぎに買い替えたい車種



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

軽乗用系ユーザーの約**4割**は、世帯年収「**400万円未満**」

軽乗用系ユーザーの世帯年収



資料：「2013年度 軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

軽自動車が多く使われる用途とは？

毎日の買い物をはじめ、通勤・通学に、配送業務や農作業でも幅広く活躍しています。

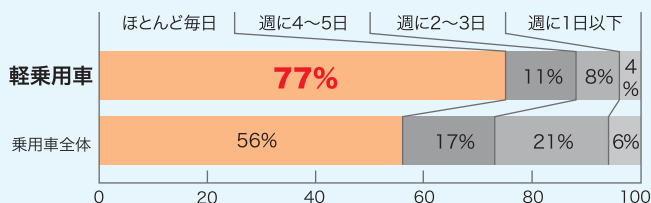


日常生活から個人商店や町工場、農家での仕事まで、軽自動車はフットワークの良さを発揮しています。また、軽自動車の保有世帯のうち78%が他にもクルマを持っており、セカンドカーとしての役割を担っています。

いつでもどこでも手軽に利用

77%のユーザーがほとんど毎日使用

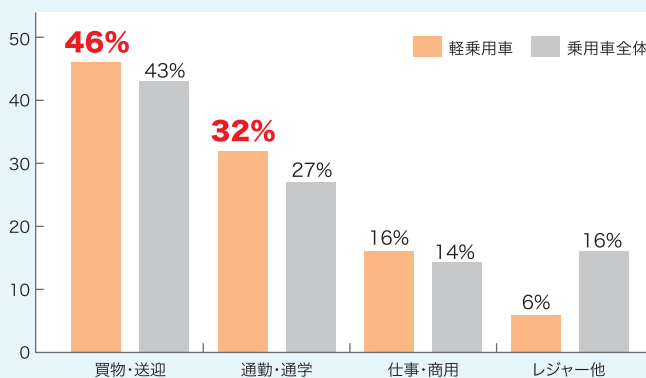
軽乗用車ユーザーの使用頻度



資料：軽乗用車は「軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会
乗用車全体は「2013年度 乗用車市場動向調査」日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

78%のユーザーが「買物・送迎」「通勤・通学」に使用

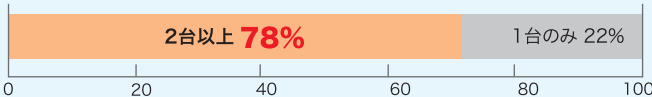
軽乗用車ユーザーの主な用途



資料：「2013年度 乗用車市場動向調査」2014年3月 日本自動車工業会（乗用車全体には軽乗用車を含む）

78%の世帯が他にもクルマを保有

軽乗用系保有世帯での複数保有率



資料：「軽自動車の使用実態調査報告書」2014年3月 日本自動車工業会

仕事や商売の良きパートナー

全商用車のうち60%は軽自動車

軽商用車の保有台数比率



資料：2014年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

軽商用車の主な用途

(複数回答)	小口配送	工場等への足	営業活動	田畑への往復・農作物の運搬
軽キャブバン	33%	46%	35%	16%
軽トラック	15%	40%	15%	54%

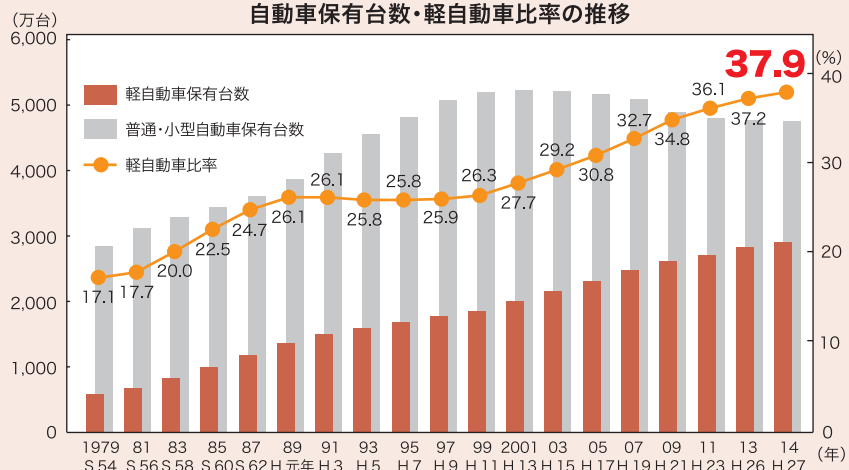
資料：「2012年度 小型・軽トラック市場動向調査」2013年3月 日本自動車工業会

時代のニーズに、次代の期待に応えながら、軽自動車の必要性はますます高まっています。

軽自動車の保有台数は、2,900万台以上。

これは、自動車の総保有台数の約4割近くを占めることになります。毎日の暮らしや仕事はもちろん、より良い環境づくりやクルマ社会の未来に向けて。軽自動車は、かけがえのない存在として貢献していきます。

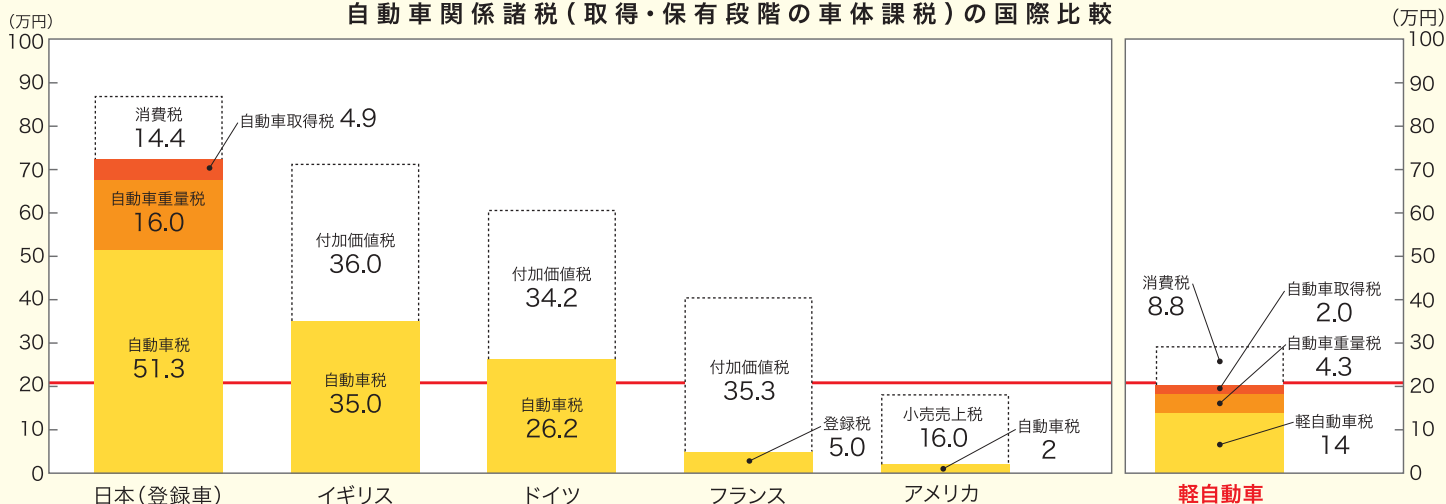
自動車保有台数・軽自動車比率の推移



資料：各年3月末現在、「自動車保有車両数」自動車検査登録情報協会

軽自動車ユーザーの税負担が国際水準です。

自動車関係諸税（取得・保有段階の車体課税）の国際比較

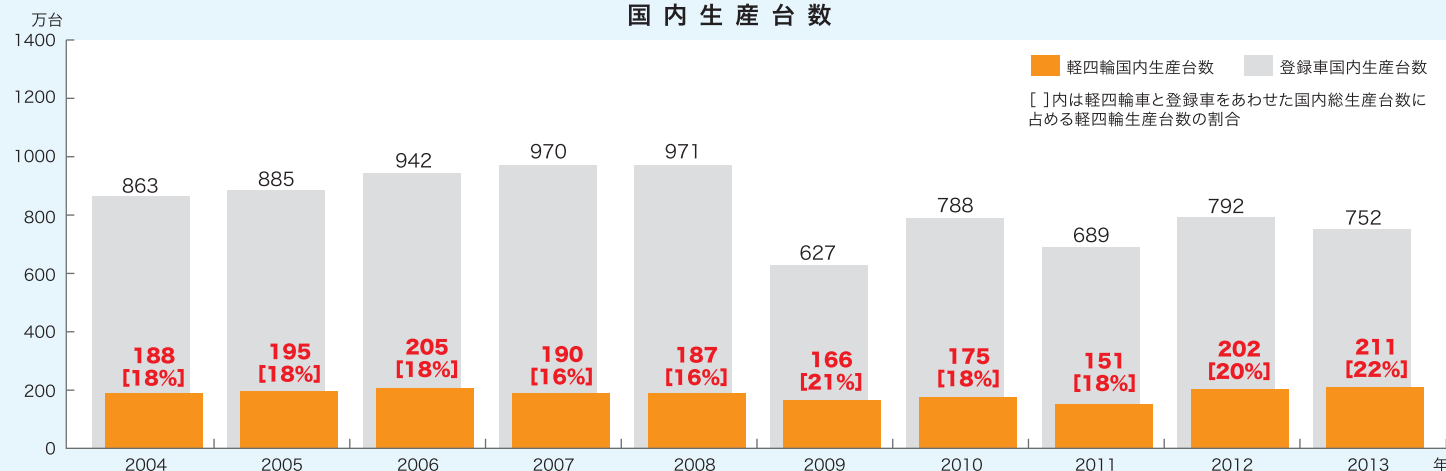


前提条件 ①排気量 1800cc、軽自動車は660cc ②車両重量 1.5トン以下 ③車体価格180万円、軽自動車は110万円 ④JC08モード燃費値 15.4km/ℓ (CO2排出量:151g/km) ⑤フランスはパリ市、アメリカはニューヨーク市
 ⑥フランスは課税馬力 8 ⑦13年間使用(平均寿命) ⑧為替レート:1ユーロ136円、1ポンド163円、1ドル101円(2013年4月～2014年3月の平均)
 注 1. 2014年4月時点の税体系に基づく試算。ただし、軽自動車税については2015年4月1日以降の新規取得により適用になる新税率(10,800円)にて試算。2. 各国の環境対策としての税制政策(軽減措置等)は加味していない。
 3. 各国の登録手数料は除く。4. フランスは2000年をもって個人所有に対する自動車税は廃止。
 資料: 日本自動車工業会調べ

軽自動車は国内の雇用に貢献しています。

軽自動車はすべて日本国内で生産されており、国内生産台数の約2割に当たる200万台前後で推移しています。
 経済の好不況に左右されにくいと、軽自動車の生産は国内の雇用を安定的に下支えしていると言えます。
 また、新車販売台数のうち約4割が軽自動車であり、製造関連だけでなく、裾野が広い販売・整備関連の雇用にも大きく貢献しています。

国内生産台数



資料: 日本自動車工業会調べ

軽自動車は海外でも活躍しています。

軽自動車の技術をベースとしたクルマはインド、インドネシア、パキスタン、マレーシアなどをはじめとするアジアの市場で大きな存在感を示しています。
 アジアなどの国々ではまだ高速道路が少なく、狭い道路が多いこと、燃費が良く価格の安いことなど、
 軽自動車の持つ本来の魅力や軽自動車で培った技術が、海外でもモータリゼーションの発展に大きく貢献しています。

発行

一般社団法人 日本自動車工業会 軽自動車特別委員会
 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

【参考】本冊子では、原則として軽自動車を次のように分類しています。
 ・軽乗用系: 軽乗用車(軽キャブワゴン含む)、軽ボンバン
 ・軽商用系: 軽キャブバン、軽トラック